



シブヤ大学

シブヤ大学 参加者募集

授業に参加するだけじゃない

“シブヤ大学でできること”、いろいろあります

誰もが先生になれるし、授業当日に手伝ってくれるボランティアや「こんな授業を一緒に作ろう」と協賛してくださる企業、もちろん寄付も大歓迎です。明日のシブヤ大学は、いろいろな形の「参加する!」によって実現します。

学生

授業に出席する

「毎月第三土曜日はシブヤ大学の日」。バラエティに富んだ授業を開催、web上で参加募集をしています。

>シブヤ大学サイトへ

先生

「街の先生」になる

「〇〇が得意で教えたい」というユニークな先生を募集します。自薦・他薦は問いません。

※メールにて受付中
>シブヤ大学サイトへ

ボランティア

授業当日の手伝いをする

授業の受付や会場設営などを手伝ってみたい方、まずは気軽にボランティアスタッフ説明会に立ち寄ってみてください。

※メールにて説明会申込受付中
>シブヤ大学サイトへ

個人 サポーター

プロジェクト継続にご協力を

多くの方々に少しずつサポートしていただくことで、シブ大は“持続可能なプロジェクト”でいられると考えています。年会費5,000円もしくは月会費500円、ご協力よろしく願いいたします。

※さまざまな決済方法をお選びいただけます。
>シブヤ大学サイトへ

法人会員・ 授業協賛

コラボ授業や商品開発なども

法人会員としてサポートいただく他、コラボレーション授業の開催やゼミ・サークルへの協賛なども大歓迎です。ご協力いただくためのベストな方法、一緒に考えさせていただきます。

※メールにてご相談ください。
>シブヤ大学サイトへ

サポート 募金

授業に満足いただけたなら……

「また受けて!」と思っていたら、帰り際にぜひお願いします。“誰もが無料で受けられる授業”を継続するべく使わせていただきます。

※授業時だけでなく、PayPalも利用いただけます。
>シブヤ大学サイトへ

2011年度 活動報告書

annual report 2011

シブヤ大学

検索

<http://www.shibuya-univ.net/>

SHIBUYA UNIVERSITY NETWORK annual report 2011

特定非営利活動法人シブヤ大学

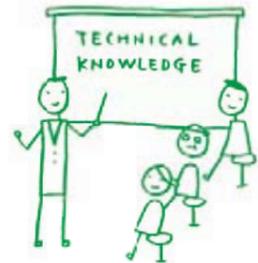
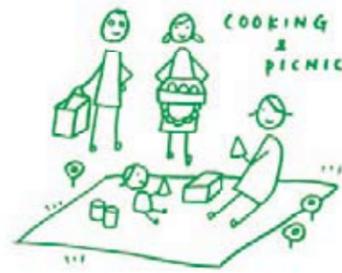
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-9-11 シオバラ外苑ビル 3F

電話 03-3479-4285

E-mail info@shibuya-univ.net

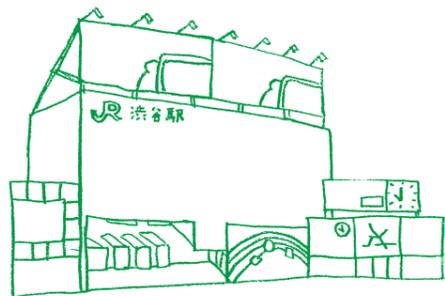
この冊子は再生紙 R100 を使用しています。

シブヤ大学は、
シブヤの街をキャンパスに、
「学ぶ」「集う」「発信する」場を目指しています。



シブヤ大学には、
校舎はありません。街がキャンパス、です。
誰もが生徒に、そして先生にもなれます。
入試や卒業、授業料はありません。

毎月第三土曜日に、
街のあちこちを教室にして、
2011年度には71授業を行ないました。
小学生から90歳代にいたるまでの老若男女、
生徒は2万人を超えました。



これからも、
誰もが心地よく学んだり、過ごしたりできる
形にとらわれない場や、ネットワークを
みんなで作っていきたいと考えています。



2011年度
シブヤ大学 活動報告書
目次 contents

活動報告	シブヤ大学に出合って、私はこう変わった	14
授業	シブヤ大学の活動、まとめてみると……	16
ゼミ・サークル	学長×事務局長 対談	
プロジェクト系	「これまで」と「これから」のシブヤ大学	
コラボレーション系	見えてきたこと 取り組むべきこと	18

シブヤ大学という組織、	
フラットで有機的な“鳶”のようなチームです	22
会計報告	24
法人会員・コラボレーション一覧	25

証言集	
シブヤ大学、そして授業について、	
感想を聞かせてください	26
生涯学習の専門家に聞いた	26
参加者募集	28

活動報告

授業

授業は、学ぶだけの場所にあらず。
つながりや発展が生まれています。



何かに興味を持ち、学んでみたい
なる気持ちは、社会的立場や年齢を
問うことなく誰にでもあるのでは？
……と考えるシブヤ大学において、
核となる活動が“授業”です。毎月
第3土曜日に実施、その内容は実に
多岐に渡っており、2011年度は合
計71の授業へのべ1,560人の学生
が集まりました。

授業の企画・運営は、授業コー
ディネーターと呼ばれるスタッフた
ちが行いますが、授業企画の唯一
の条件は、「自分が心の底から受
けたい、一人目の生徒になりたく
なる授業を作る」こと。それ意外は実
にフレキシブル。ある授業では生徒
だった人が、別の授業では先生に
なることも、その逆もあり。教室は、
授業内容にふさわしい場所を、その
都度検討。公共施設や店舗などを

使わせていただいています。シブヤ大
学サイト上で募集する授業は基本
的に無料、登録すれば誰もが応募
可能です。2012年3月末日現在、
シブヤ大学の登録学生数は14,448
人。メーリングリストへの登録者は
20,444人となっています。

シブヤ大学の「授業」は、学ぶた
めの手段に留まってはいません。
単発の授業がゼミやサークルと
いった継続的な活動に発展したり
(p10)、何らかの課題解決を「授
業」という形態を巧みに活用する
ことで目指したり。授業は、シブヤ大
学の活動を多彩なものにしてい
ます。授業を活用しての地域コミュニ
ティや企業とコラボレートする機会
(p12~13)も、2011年度には増え
ました。

01



好評連続企画の「みんなの図工室」第1回はコラージュでバインダーを作成。

09



ブルーハーツのコピーやろうぜ♪ 甲本ヒロコ(?)に成りきってシャウト!

12



大人も子どもも、よさこいで元気になります。

13



フェアトレードのショップ「People tree」が教室に。

15



スタバと映画の意外な関係……? 映画監督による広くて深い映画談義。

16



恵比寿の人気パル「ティオ・タンジヨウ」のシェフが先生。昼から飲む♪

24



バリや仙台にも遠征する「Sing! 恵比寿」、目標は1000人で歌うこと!

シブヤ大学 2011年度 開催授業一覧リスト

- 01 4/16 (土) みんなの図工室 01 ~作って、使おう!わたしの文房具~
- 02 4/16 (土) それでもあの人が心臓病になってしまった場合
- 03 4/16 (土) 私のために、誰かのために。今すぐできるアロマ術。
- 04 4/23 (土) 希望へのプロセス ~過去の震災から学び、これからを考える~
- 05 5/15 (土) レッツ盆踊り!! ~原宿表参道の夏を踊ろう~
- 06 5/15 (土) 移動する料理教室 ~みんなでピクニック~
- 07 5/21 (土) みんなの図工室 02 ~ボタン大作戦~
- 08 5/21 (土) 着物のイロハと魅了を語ろう ~もっと和服を着たい女子集合!~
- 09 5/28 (土) ブルーハーツでバンドやろうぜ!
- 10 5/28 (土) 一緒に生きる。 ~小さな希望を見つけるためのワークショップ~
- 11 5/28 (土) "チェンジメーカー"という生き方
~ブラインドサッカー事務局長の社会起業~
- 12 6/12 (土) みんなで躍ろう!みんなで歌おう!
~原宿・表参道を元気にするよさこい体験会~
- 13 6/18 (土) オフィス de フェアトレード!
~世界を変えるかも知れない日常のコーディネート術~
- 14 6/18 (土) みんなの図工室 03 ~消しゴムはんこでフルーツバスケット!~
- 15 6/18 (土) “世界観”が判れば見方が変わる!? 映画鑑賞&制作術
~あるいは低予算映画の突破口にもなる“世界観”~
- 16 6/25 (土) 恵比寿で味わうスペイン情緒!
- 17 6/25 (土) 都会と地方の仕事、昔とこれからの仕事
~それはまるで一つにつながる長い道のような話~
- 18 7/16 (土) 接着は材料3割、テクニック7割! 渡辺教授の接着概論
~接着剤の「?」を、教えて!ハンズ!~
- 19 7/16 (土) 節電モードな真夏の夜に夢は見られるか?
~熱帯夜の「?」を、教えて!ハンズ!~
- 20 7/16 (土) コスプレでAKBを踊らずに、パーティを盛り上げるいくつかの方法
~パーティグッズの「?」を、教えて!ハンズ!~
- 21 7/16 (土) みんなの図工室 04 ~誰かに着せたい!てぬぐいこどもふく
- 22 7/16 (土) 原宿で考える、震災ボランティア論
~いま、本当に必要なボランティアとは~
- 23 7/16 (土) 江戸を学ぶ ~楽しく粋な夏のすごしかた~
- 24 7/18 (土) 「Sing! 恵比寿」 ~恵比寿で歌おう! 2011 キックオフ~
- 25 8/21 (土) みんなの図工室 05 ~こけしマドラーに顔を描こう!~

ある日の授業【1】

4月23日(土)「希望へのプロセス ~過去の震災から学び、これからを考える~」

「被災地とどうつながればいいのか?」、 震災から1ヶ月、情報と気持ちを整理してみた

東日本大震災直後に誰もが考えたであらう「何かしたいけれど、どうしていいかわからない」という気持ち。「ならば、まずは経験者に話を聞こう」と思い立った授業コーディネーターが、話し手(先生)探しからスタート。阪神・淡路大震災で故郷が被災した経験を持ち、東日本大震災ではいち早くThink the Earth基金を設立、ボランティア活動を支援しておられた上田壮一さんを先生に、授業を組み立てることに。

集まった学生は100名近く。現地入りしたボランティアからの状況報告、上田さんによるさまざまな支援活動の説明などを聞いた後、グループに分かれてのディスカッションへ。「私たちにできること」として、健康管理、エコロジー対策、アート&カルチャー、子どもへの働きかけといったアイデアとともに、「話を聞く」「被災地と一緒に活動」「継続的に」などといった基本姿勢についても確認し合えた授業に。

04





27 着られなくなったTシャツやジーンズなどが材料、履き心地最高!



36 障害があろうと無かろうと、もっとフラットにつきあおうよを柔らかく具体的に。



30 小学生からお年寄りまで幅広い学生が対戦、超初心者もたちまち



31 外国人も多い恵比寿の街で世界を味わう、まずは南米料理を作る。



37 「外国人を原宿表参道でもてなすなら?」を真剣に考えてみた。



35,39 郊外学習と銘打っての「おとなの社会見学」。今回は競馬場へ!



40 フリークライミングしてみたい! だったら挑戦!



41 仕事や働き方について女性だけで集まっておしゃべり。深い授業となりました。



43 「表参道でデート♡」も授業になってしまうのです!



45 激動の今を生きているからこそ考えてみたかった、30年後の働く自分。



49 クリスマスに原宿表参道でデートしたい!の気持ちが国境を越えました。



50 クリスマスだもん! チキン焼くもん!

シブヤ大学 2011 年度 開催授業一覧リスト

- 26 9/10 (土) 原宿で1日お店をやりたい人集まれ!
～流浪のショップ「PHYSICAL TEMPO」をみんなでつくろう～
- 27 9/17 (土) みんなの図工室 06 ～素足に気持ちいい!布ぞうりづくり～
- 28 9/17 (土) 明治神宮の建築探訪 ～見たことのない、明治神宮が見えてくる～
- 29 9/24 (土) 身近な紙の秘密にせまる ～紙を知るヒント・使うコツ～
- 30 9/17 (土) 初めての<IGO> ～超初心者向け囲碁体験～
- 31 9/17 (土) 恵比寿で味わう旅ごはん! ～南米編～
- 32 9/17 (土) わたしの好きなもの
～34歳、女、独身、グリーンファッションショップ・ディレクター～
- 33 9/24 (土) マイクロファイナンスのある世界
～カンボジアで牛と豚と鶏を飼う2時間～
- 34 10/8 (土) ～10/10 (月)
恵比寿文化祭 2011 ～オープン、恵比寿!～
- 35 10/15 (土) おとなの社会見学09～東京競馬場に行こう!～
- 36 10/15 (土) みんなの笑顔を繋げ、街を元気にする作法「ピープルデザイン」とは?
～今までの福祉の概念を超えて～
- 37 10/15 (土) 100名で原宿表参道旅行社!
～原宿表参道スペシャルツアーのつくり方～
- 38 10/15 (土) みんなの図工室 07 ～感じて描く、楽しいらくがき!～
- 39 10/22 (土) おとなの社会見学09 ～東京競馬場に行こう!～
- 40 10/29 (土) ～10/30 (日)
シブヤ子どもフェスティバル 2011 ～こどもはまちのたからもの～
- 41 10/30 (土) しごと café
～女性どうして仕事や働き方について話し、聞いて、考えてみませんか?～
- 42 10/30 (土) 親子でつくろう! ～たのしいコリントゲーム～
- 43 10/30 (土) 青参道デート! ～アートフェア編～
- 44 11/19 (土) 「森」をつくる。2011 ～明治神宮の森でどんぐり拾い6～
- 45 11/19 (土) 未来の働き方 ～30年後の視点から今を考える～
- 46 11/19 (土) みんなの図工室 08 ～ほっこり毛糸で編むポーチ～
- 47 11/19 (土) 旅を撮る、旅を書く
- 48 11/19 (土) 写真の撮り方を学ぼう ～レンズ越しのコミュニケーション
- 49 12/10 (土) The Harajuku International Friendship Double Date
～12月の原宿表参道で世界をつなぐダブルデートを～
- 50 12/11 (土) クリスマスにチキンを焼こう、リバイバル!
～バリミツ星レストランで修業したシェフに学ぶローストチキン～

ある日の授業【2】

7月16日(土)「○△□の「?」を教えて!ハンズ!」3授業

シブヤの企業と一緒に面白いことしたい! ショップスタッフが先生になった日

宇田川町に誕生して実に30年以上、在シブヤの大先輩(!)である東急ハンズ渋谷店から、ある日「ハンズの資源を活かした『ならでは』の地域貢献をしたい」という声。売り場スタッフすなわちDIYの達人は、文字通り「街の先生」、一緒に面白い授業ができるはず……そんな出会いから始まったコラボレーション授業。

授業で教えてもらいたい内容をTwitterなどで事前に募ったところ、アクセサリーの手入れ法、快適睡眠のコツ

から人を笑わせる方法……など189件もの質問が。東急ハンズ担当者とともにその中から選んだのは、「接着剤」「熱帯夜の過ごし方」「パーティグッズ」の3テーマ。それぞれの「?」を解いていく3つ授業が出来上がった。

実技を交えての授業は、学生はもちろん先生たちにも「知識やノウハウを伝授するのは楽しい!」と好評。東急ハンズとのコラボレーション授業は、次年度も形を変えて実施することに。

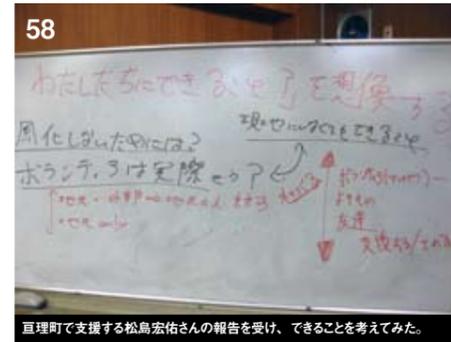




51 ショッピング? いえ、授業中。表参道のブティック「matoru」が教室です。



53 寒い冬、運動はイヤだけど……ジャグリングならと。



58 巨理町で支援する松島宏佑さんの報告を受け、できることを考えてみた。



52 カリグラフィーで作ったカードは誰のもとへ届く?



55 ランドスケーププロダクツの中原慎一郎さんが原宿を案内。そして、祝!



62 きのご好きが、飯沢耕太郎さんを囲んで「きのごコミュニケーション」。



57 誰でもマンガが描けることをイラストレーター中山桂さんが伝授。



63 パリのアコーディオン奏者 taca さんと合奏、実現。

ある日の授業 [3]

11月19日(土)「写真の撮り方を学ぼう ～レンズ越しのコミュニケーション～」

「撮る、撮られる」とは? 世代や性別をこえて“大きなエネルギーの交換”を体験

デジタルカメラの普及で、それまで以上に皆が気楽に写真撮影を楽しんでいる一方で、「思った通りに撮れた!」という満足感はそれほど高まっていないかも……? という推察に端を発した写真撮影講座。シブヤ大学では過去も何度か写真の授業を開催しているが、今回の先生、写真家の権侑子さんは「カメラでモノを写す仕組み」を学ぶとともに、「撮る、撮られるは大きなエネルギーの交換、コミュニケーションである」ことを体感できる内容を提案。

写真という今や老若男女問わず人気のテーマだけに、実に幅広い年齢層の学生が「身近な人を撮る」という宿題を携えて集合。ゲームによって気持ちをほぐした後に撮影し合う実技では、こうした機会でもなければ接触が無さそうな相手と世代や性別を越えて向き合い、会話に花を咲かせながらシャッターを切る姿が。黙々と被写体に向かう、というタイプとはひと味違う、シブヤ大学らしい写真の授業となった。



48

シブヤ大学 2011 年度 開催授業一覧リスト

- 51 12/17 (土) matoru と探す あなたの「無地の美」
- 52 12/17 (土) みんなの図工室 09 ～カリグラフィーでクリスマスカードづくり～
- 53 12/17 (土) みんなでポイ! ～ジャグリングでエクササイズ～
- 54 12/26 (土) Social Sensing ～社会を観る力～
- 55 1/21 (土) 原宿のランドスケープを巡る旅
- 56 1/21 (土) Hello Ebisu! ～恵比寿の「人」を映像で取材してみよう!～
- 57 1/21 (土) みんなの図工室 10 ～笑顔を伝える、マンガ描きかた入門～
- 58 1/21 (土) 2011年3月11日から今までの、そして、明日からの道
～宮城県巨理町で生きる私の話～
- 59 1/21 (土) 切り絵ワールドへようこそ!～ポストカードを作るの巻～
- 60 2/18 (土) みんなの図工室 11 ～三角形の豆本をつくらう～手作り製本講座～
- 61 2/18 (土) 自分の仕事を編み直す ～視覚障がいを持つ方の仕事の話聞いて、自分の仕事について考えてみませんか?～
- 62 2/19 (土) きのご好きあつまれ!～きのごコミュニケーションのすすめ
- 63 2/26 (土) 体感!パリのアコーディオン奏者が奏でる“風の音楽”
- 64 3/3 (土) みんなの図工室 01 茨城「里美家族」会議②
～第2のふるさとづくりプロジェクト～
- 65 3/17 (土) みんなの図工室 01 ロックを聴く
- 66 3/17 (土) みんなの図工室 12
～ニードルフェルトに挑戦!春色のバッグチャームづくり～
- 67 3/17 (土) 今改めて学びたい、もしもの時に役立つアイデア実践術!
～3.11を機に生まれたサバイバルプロジェクト OLIVE～
- 68 3/17 (土) 住みながら街を楽しむ～原宿に来て感じること～
- 69 3/18 (土) ゲームとコミュニケーション～運と戦略のドイツゲーム～
- 70 3/18 (土) 自分でメンテナンス!知って楽しい暮らしのヒント～お部屋の壁編～
- 71 3/18 (土) 自分の仕事をみがき直す。～日々楽しんで働いていくために～



69 つい夢中になった“ドイツゲーム”いろいろ、怒濤の4時間半!



70 人気のDIY的授業、今回はおうちの“壁”にフォーカスして。

活動報告

ゼミ・サークル

教室での出会いから、授業の後も学生が自主的かつ継続的に集まり、興味あるテーマをより深く掘り下げているケースも。
シブヤ大学は、こうしたゼミあるいはサークルの任意団体としての活動を（新たな設立も含めて）支援しています。毎月定期的に行なわれている“放課後の課外活動”は、ネット上でも報告がなされています。



Sing!恵比寿

レギュラーメンバーだけでも約100名、レパートリーはゴスペルから第九まで。世代や国境、経験の有無を越えて誰もが気軽に参加できる歌のサークル。恵比寿での活動の他、6月には「バリ音楽の日」への海外遠征を実現。http://singyebisu.blogspot.jp



畑ゼミ「tane」

都会に暮らしながらも「自分が食べる野菜は自分で育てたい」という思いから始まったゼミ。「農」や「食」についての知識も交えつつ野菜作りを实践、毎秋には収穫祭も。http://ameblo.jp/hatake-tane/



国際化プロジェクト「インタナ」

日本在住の外国人と交流しよう、というサークル。月1回、お茶を飲みながら（インタナでの共通語である）日本語でおしゃべりを楽しむのが基本。料理や盆踊り、遠足など多岐に渡ったイベントも。http://shibudai-intana.blogspot.jp



映画音声解説ゼミ

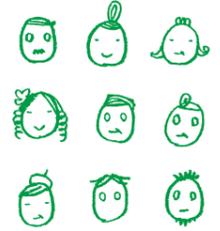
視覚障がい者や視力が低下した高齢者が映画を楽しむ際のツールになる“音声解説”。解説作りを軸にして、映画について学んだり、上映イベントを作り上げていく過程で、視覚障害の人たちとともに考えていったり。映画館との協働など現場での実践をゴールにしています。http://nijitoneiro.blog96.fc2.com



活動報告

プロジェクト系

授業の企画・運営、そこから派生した任意のゼミ&サークルへの支援に加えて、シブヤ大学はまた別の形での活動も行なっています。
地域の活性化や仕事や働き方に関するもの、などさまざまなテーマについての課題解決や、「こんなことができたらいいな。あったらいいな」をカタチにしていけるためのプロジェクト群です。



原宿表参道キャンパス 恵比寿キャンパス

街をキャンパスと考えるシブヤ大学が、地域とのネットワークをもっともっと大切したいと考え始めたとき、立ち上がったのがこれらのキャンパスです。

それぞれの地域に根ざした授業を行なうのはもちろん、盆踊りや神輿かきなどの行事へも参加。高齢化が課題でもある町会とシブ大生との交流はお互いにとってエキサイティングであることも判明し、地域コミュニティの新たな盛り上がりの予感。



キャンパスMAPづくり隊!

シブ大生と街が、さまざまな店やそこで働く人を媒介により深く交流できたら……との思いから、学食や購買部のように活用したい店を取材してはMAPに載せて紹介。今年度は、お店巡りを満喫するWデートを授業化(p7・43) するなどの試みも。http://www.shibuya-univ.net/maptai/blog/



しごと課

「楽しく働く、楽しく生きる」人がひとりでも増えることを目指して活動するプロジェクト。メンバーは「働く」「仕事」に関する授業を開催したり(p7・41など)、「日本仕事百貨」との連携を通じて、シブヤエリアの求人情報を発信しています。http://www.shibuya-univ.net/shigoto/



活動報告

コラボレーション

“学びの機会”と“人とのつながり”によって、シブヤという街での生活を豊かにしたい。そのためには、シブヤの街に関わっている他者と交流・協力しあうことは不可避。ときには解決すべき課題にも一緒に取り組むことで成果を得られるのではないか。そんな考えから、地域の企業や行政とのコラボレーションも大切な活動と位置づけています。また、一連のノウハウは全国の姉妹校間で共有され、今年は韓国・ソウルにも輪が広がりました。



企業

企業の事業内容や研究開発テーマに応じた協賛授業を主に展開。は東急ハンズとの「教えて!ハンズ!」シリーズ (p6)、渋谷西武との「みんなの図工室」シリーズ、Social Sensing Labおよびアサヒお客様生活文化研究所との「社会を観る力」についての授業でコラボが実現しました。また、恵比寿ガーデンプレイス主催の「恵比寿文化祭2011」へは、授業ノウハウを発展させてのイベント企画・運営に参画しました。



町内会、地域の市民、NPO など

町内会や自治会が高齢化する中、たとえば神輿や祭りの担い手になると楽しいのでは?という発想から、「盆踊り」や「よさこい」などの授業を実施。その反響は大きく、恵比寿盆踊りではボランティア参加もスタート。「恵比寿文化祭2011」(p7)や渋谷公園通商店街振興組合主催の「シブヤこどもフェスティバル2011」、NPO法人「響」による明治神宮緑化推進事業なども、授業化することで多くのシブ大生が参加しています。



行政

NPOであるシブヤ大学は、より柔軟な発想や動きができることを強みに行政とタッグを組むことで地域の課題解決に貢献したいと考えてきました。渋谷区の社会教育館で生涯学習事業を推進する渋谷サービス公社からは年間通じて授業の企画・実施を受託。渋谷区危機管理対策部とは、住民主体の防災コミュニティ作りで協働。また杉並区児童福祉部の依頼により高校生向けに仕事や働き方の意識調査を実施、具体的な支援策を提案しています。



姉妹校&海外

シブヤ大学と同じく「地域がまるごとキャンパス」という発想で活動するNPOは、地元コミュニティがそれぞれの地域特性を活かす形で続々と誕生しています。2011年度には、鹿児島に「サクラ島大学」が開校。姉妹校は今や9校を数え、活動やノウハウを共有して相互支援を行なっています。また、海外とのつながりも新たに。韓国・ソウルの社会的企業(※)との交流が始まりました。

※社会問題の解決を目的として収益活動を行なう企業



シブヤ大学に出合って、私はこう変わった



仕事とは? 自分の役割とは? 地元とつながることで少しわかってきた

齋藤睦美さん (シブヤ大学 学生)

就活中によく見ていた「東京仕事百貨」のサイトで、シブヤ大学の存在を知りました。目に留まったのは「都会と地方の仕事、昔とこれからの仕事」という授業。ヤップ島で自給自足生活をしたり、全国の限界集落を住民の手伝いをしながら旅していた友廣裕一さんが先生を務めるということで、気になって応募。ところが直前に東日本大震災があり、授業は6月まで延期に。私も実家が石巻市で、友だちや親せきには家を失った人も。就活を終わらせてから地元に戻り、現場の手伝いもしました。

延期を経て、ようやく開催となった授業では、仕事とは何か、自分の役割とは何かといった話が聞けると思っていたら、友廣さんが被災地で始めていた自立支援活動の話題に。その行動の速さが本当にすごいと思い、自分も何かしたいと強く感じました。その後、友廣さんも関わっている東北支援プロジェクトでスタッフ募集を見つけ、卒業までの期間参加することに。就職先は東京ですが、地元の若い人たちがもっとつながって元気になれる、そうした街づくりには今後も関わっていけたらなと思っています。



話を聞くだけ……じゃなかった スペイン行きは、ここで芽生えた

中野安季子さん (シブヤ大学 学生)

Jリーグファン歴10年、いつかはサッカー関連の仕事をしたと思っていた私が初めて参加したシブ大授業が「サッカーで飯を食う。」。スペインでサッカー関連の仕事を得た先生方の紆余曲折あったという話に、ああ、すごいなあって。とても刺激されました。愛読書『サッカー馬鹿 海を渡る』の著者(川内イオさん)が授業コーディネーターだったというのが参加の動機。名刺の裏に「私はあの本を読んで、絶対にスペインに行きたいと思っています」と書いて渡したところ、「何でも力になるよ」と言われ

て。授業前は話が聞ければいいと思っていただけなのに、一歩動くだけで世界が変わって来るんだな、と。その後、ブラインドサッカー協会のことを別の機会に知り、広報ボランティアに(プレーを見て驚きました。障害があるのに、じゃなくてすごい!)。サッカー業界のさまざまな人と出会う中で、やはりスペインに行こうと決心しました。出発前に川内さんに報告したら、「何か困ったら言ってくれ」と心強い返事が。あの授業に出ることができて良かったなあと感じています。



華々しくはないけれど、楽しい おもしろい人にたくさん会える

狩野元彦さん (シブヤ大学インターン第2期生)

週2回、事務局で授業前の準備や授業後のアンケート集計など裏方を担当しています。報告書の作成は協賛や協力を得るためにも大切な仕事。授業後に書いていただくアンケートは学長に負けないくらい読んでいます。また「授業への出席率を上げる方法を考えて」など課題を投げられ、提案することも。一方、僕から「こんなことをしたい」と提案しても、シブ大の人たちは応援してくれます。工夫も責任も自分次第で作っていきける環境だと思います。ここにいと、打ち合わせもないのにふら

〜と遊びに来るスタッフさんなど、今まで考えたこともなかった仕事や生き方をしている“おもしろい大人”に会えるんです。自分の思いはあるけれど、まわりの考えを尊重するような。世代に関係なく気軽に話ができる人ばかり。シブ大のそんな雰囲気がいいなって。今後は、金融関係のスキルを身につけたいと考えています。頑張っている企業を応援して成長させていく投資家の活動は面白そうだなと思って。そして、いつかは地元で自分の会社を作ったらどうかと考えています。



年齢も背景も違う人たちとの交流が チャレンジする気持ちを高めてくれた

生姜塚理恵さん (ボランティアスタッフ)

初めて受けた授業の後、シブ大の3周年記念パーティでスタッフと話が弾み、スタッフとボランティアスタッフが集う職員会議にお誘いいただいたんです。これをきっかけに、授業作りや運営にも興味を持つようになりました。初めてのスタッフ会議では、皆さんが自由に意見を交わしている光景がとても新鮮でした。そこで授業のアイデアを募っていて、「香道」をテーマにした授業を提案したところ、何と選んでいただけました。先生への依頼、内容の詰め、授業紹介文の作成など授業コーディネー

ターの仕事も経験。生徒さんから「楽しかった」と声を掛けていただけたのは本当に嬉しかったです。私は今、2度目の大学生活を送っている主婦なんです。シブ大に来ていなかったら、大学では授業を終えたら即帰宅、年下の同級生たちとの交流も少なかったと思います。シブ大で年齢も背景も違う人たちが認め合ってコミュニケーションして、かつ楽しみながら真面目に何かに取り組んでいる姿を目の当たりにしたことで、大学でもさまざまなことにチャレンジできる自分になりました。

つまるところ……
シブヤ大学はこんな風に
考えて、企んで、活動している
というわけです。

シブヤ大学の活動を少し俯瞰で眺めてみると、授業、プロジェクト系活動、コラボレーション、他エリアとのネットワークなどが互いに繋がりが合っていることが
何となくわかっていただけるかと思います。
そのココロは？ つまりは何がしたい？
シブヤ大学の目標、それを達成するために大切にしている考え方を、今一度まとめてみました。

“自分の生活や人生”を、
それぞれが楽しく豊かなものにしていく。
そのためのサポートをしたい。

学ぶ、集う。ときには、つながる。そんな学習の場を、
家庭でも職場や学校でもないもうひとつの自分の居場所
であるサードプレイスとして提供すること。新しい発見
をしたり、世代を越えた他者や世界との関係性を深めたり、
やりがいを感じたりすることでそれぞれが人生を豊かに
していく……そのサポートができればいいなと考えて
います。

シブヤを舞台に、
小さくても新しい社会モデルの構築を。
生涯学習や街づくりをはじめ
様々なテーマについて、
実践的に取り組みたい。

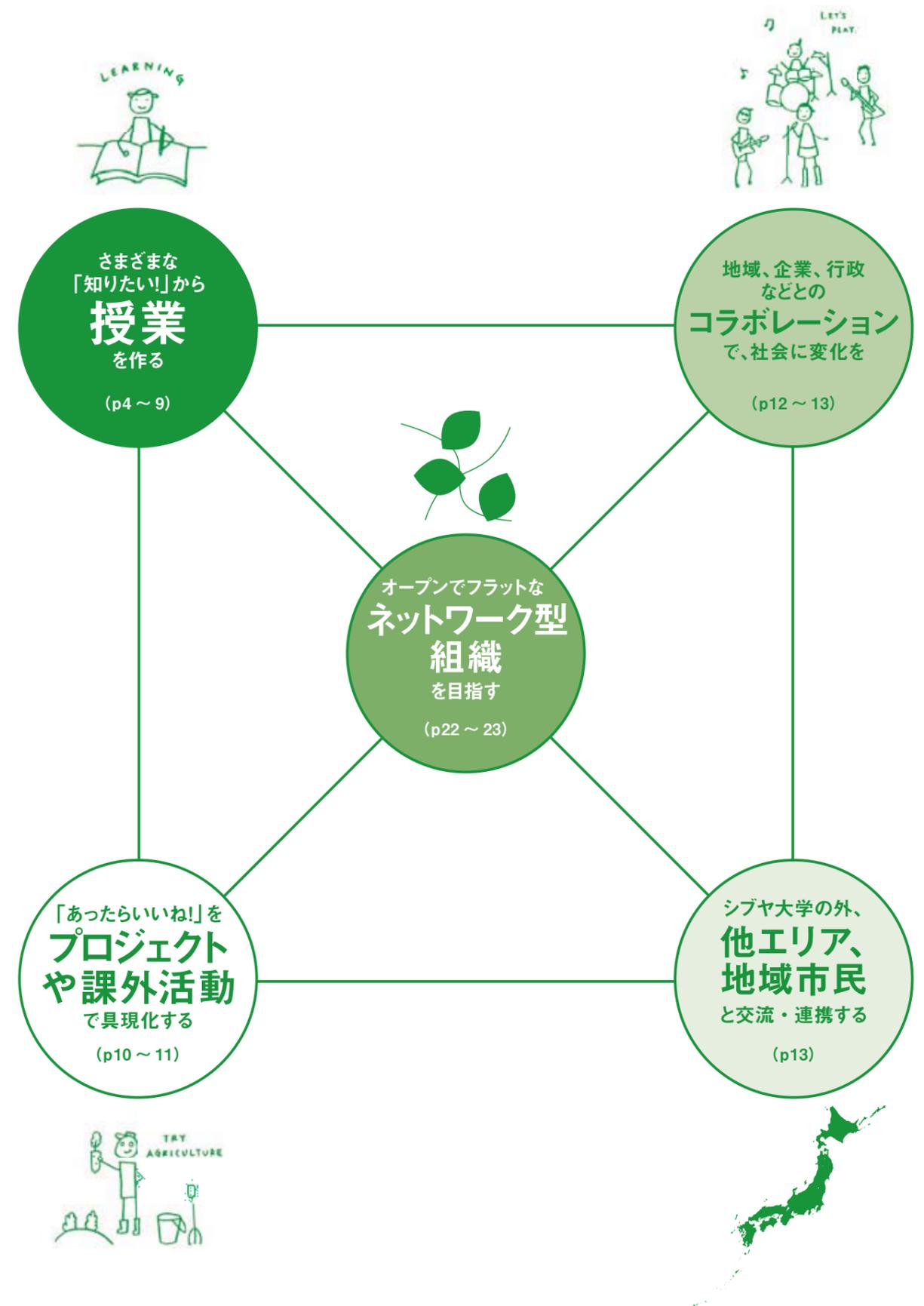
地域コミュニティにおけるさまざまな課題に着目、解決
するためのプロジェクトを遂行することも、シブヤ大学
にとって大切なミッションです。渋谷区という基礎自治
体のスケールでもって次世代社会の構築を図る。変化
を起こしやすく、また感じやすい規模だと考えるから
です。この規模であればこそ、走りながら考えることも
可能。大きすぎる構想やビジョンよりもまずは小さな成功
の積み重ねを大切に、地域コミュニティや企業、行政と
タッグを組んで進みたいと考えます。

学びの場を作り出すことはもちろん、行政サービスの
イノベーションをサポートしたり、企業と地域コミュニ
ティの間を取り持ったり。これらを実現させるプロセス
において、シブヤ大学に集うさまざまな人材がさまざま
な形で関わる。それによって各ステークホルダーが単体
では解決しにくい課題を解決に導くことができれば素晴
らしい!と考えています。

これらの取組みを実行し、
成果を上げるために。
組織の在り方やお金の流れなど、
手段やプロセスにおいても
常により良い姿を目指したい。

未知の課題にも臨機応変に取り組んでいくためには、
“オープンでフラットな、ネットワーク型組織”を実現さ
せることも重要。プロボノを含むボランティアがスタッ
フとして、プロジェクトごとに入れ替わり立ち替わりしな
がら貢献していく……そんな組織づくりを目指します。ま
た、資金調達においては企業や行政からのサポートに加
えて、より多くの地域市民に少しずつ支援していただ
ける仕組みを作り、つながりを深められればと考えます。

そして。こうした思考、実践の手段やプロセスのすべ
てをシブヤ大学の外でも広く共有し、全国いや世界の
さまざまなプロジェクトや組織の参考にしてもらえるよ
うになったら。同時に、シブ大もまたさまざまなコミュニ
ティやネットワークでの取組みから学ぶことができたら
……。とても素敵な未来を、みんなで作っていきけると思
うわけです。



「これまで」と「これから」のシブヤ大学

見えてきたこと 取り組むべきこと

2006年の設立から早くも6年を経た今、ずっと大切にしてきたことや、活動を続けることで生まれた変化、新たに見つけた可能性、展望など……。強力なタッグを誇る学長と事務局長が、縦横無尽に、熱く、シブヤ大学を語ります。



左京 シブヤ大学というのは、2004年に渋谷区議会議員の長谷部健さんが渋谷区の新しい生涯学習の在り方を区議会に提案したのがきっかけ。行政サイドでは実現に至らなかったこのアイデアを「もったいない!」と思ったメンバーが始めたのが、今のシブ大につながる流れだね。途中から僕が舵を握ることになったわけだけれど、その理由は、シブ大が提供しようとしている機会っていうのは、「知る」とか「経験する」とか、それを受けて自分が「変化していく」とかね、僕自身すごく必要だなと思ったものだったから。そして、僕以外の多くの人にとっても必要なんじゃないかと思えたから。

榎本 僕には、かつて社会というか

仕事とのチューニングがどうも合わなかった時期がありまして(苦笑)。自分と仕事が離れている人が多いというか、何かに支配されている時間が多いなど。けれど、シブ大の授業なんかで学びたいことを学んでいるときって、少なくとも「やらされている、支配されている」感は無くて。大いに面白がる「自分事(じぶんごと)」になっているはず。

左京 他人事じゃなくて、「自分事」ね(笑)。

繋がっても、繋がらなくても どんな形の参加でも歓迎

榎本 僕には、シブ大に関わるいろんな人たちと共有したい問いがあった。それは「どう豊かに、面白く過ごそうか」なんだけれど、実は答えよ

りもそれを考えて行くプロセスがこそ大切だと思うんですね。で、ヒントはやはり、いかに「自分事(じぶんごと)」「として楽しんじゃうかっていう。何かの課題解決というよりは、いろんな「自分事」を作っていくというか、増幅させていくというか。シブ大がそのための装置になればいいなあって考えてる。「自分事」な人が増えたほうが、面白い社会になると思っているので。

左京 学びたい人が学びたいときに気軽に学べるシブ大があって、そこにいろいろな「自分事」が集まってワイワイやってるっていいね。もちろん、ひとりでもいい時間を楽しんでもらうのも歓迎。そこは自由に。

榎本 シブ大の魅力は、「繋がっても、繋がらなくてもいい」ってとこ

ろ。やりたいように、ありたいように、過ごせばいい。

左京 今までの自分の生活には無かったような場とか、人間関係とか、あるいはその活動に自分の身を置くことで何か変化するっていうことを、シブ大に来る人たちは期待してくれていると思う。僕ね、印象的だったアンケートのコメントがあるんです。「正直に話すと、実は(受けるのは)どの授業でもよかったんです。仕事の都合で東京に引っ越して来て、友だちができたらいいなと思って来ました」っていうの。すごくいいなと思った。

榎本 学ぶことを「言い訳」にしてもらっちゃっても、そこは全く構わないからね。

“ボランティア”と書いて “自発的”と読む

左京 「ボランティアの人ってなぜシブ大に集まるんですか?」「社会的使命感の強い人が集まって来るんですか?」とかって、インタビューなんかでもよく聞かれるんだけど。そんなときには、「部活みたいな感じですよ」って説明してる。週末にスポーツをしたり、一緒にバンドやったりとか、そういうのと何も変わらないんですよ。生涯学習やNPOに興味がある人ももちろんいるけれど、基本的には、「シブヤ大学っていうプロジェクトにかかわること」を楽しもうっていう人たちが集まるんだと思っているから。

榎本 授業コーディネーターや授業

運営スタッフからインターンに至るまでいろんな役割があるし、そこで自分が「やりたい!」って手を挙げたらチャレンジできるっていうのがシブ大という組織の大きな特徴。

左京 ボランティアって「献身」というより「自発的」っていう意味じゃない? 要は自分がやりたいかどうか。誰もがやらされてはいない「自分事」ね。「シブヤ大学の運営」という部活。新しいでしょ(笑)。

榎本 そうして集まって来た人たちの知恵や技術やエネルギーを最大限に発揮してもらって、成果に結びつけたり、楽しんだり気持ちよくなったりを後押しするのが僕ら事務局の仕事です。



左京 泰明 / シブヤ大学学長。早稲田大学卒業後、住友商事、NPO法人グリーンバードを経て、2006年、NPO法人シブヤ大学を設立。2007年、「グッドデザイン賞」受賞。著書に「シブヤ大学の教科書」(シブヤ大学編、講談社刊)など。

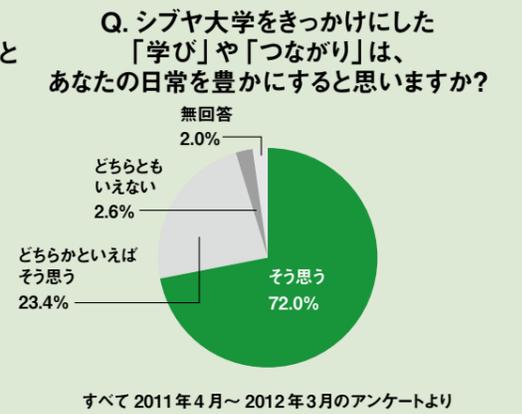
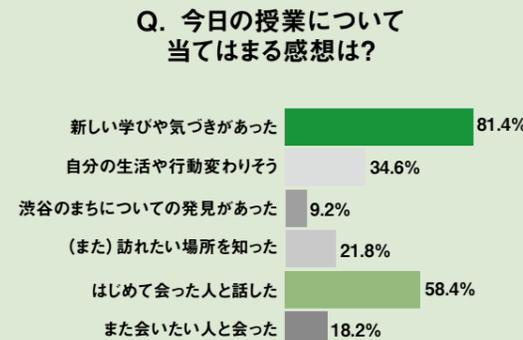
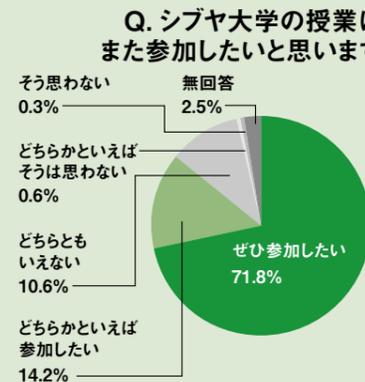
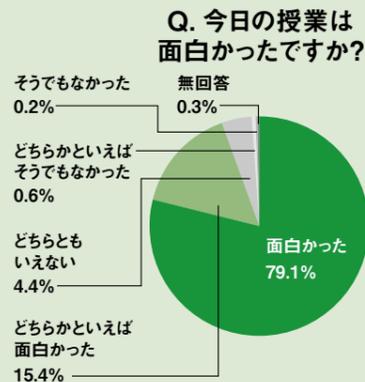


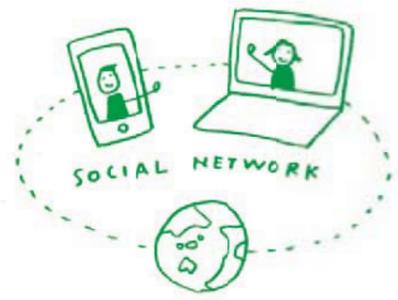
榎本 善晃 / シブヤ大学事務局長。就職後、テトルクリエイティブを創業するも「リアルなサードプレイスを作りたいな」と2009年よりシブヤ大学に参画。夜は代々木八幡でワインスタンド「おいしい日本のワイン sun(さんさん)」を経営。



DATA 編

シブヤ大学を数字で見ると……





「企業でも行政でもない存在としての、
“新しく出会った何かの課題×シブヤ大学”
という取組みにチャレンジしたいね」 —左京

榎本 これからのシブ大については、大きい目標がふたつ。まずは「シブヤ大学の楽しめるキャパシティを増やしたい」ということ。学生として関わる人が圧倒的に多いけれど、それ以外の関わり方もぜひ試してみたい。特に積極的に取り組みたいことのひとつは、授業をきっかけに生まれるゼミやサークルをもっと作りやすくする、ということ。

左京 単発で終わるにはもったいない授業がたくさんあると思うんですよね。テーマを掘り下げてみたい学生たちがいるなら、道しるべをきちんと整えたいなと。

榎本 ゼミやサークルをどう定義しているか、シブ大からはどんな支援が可能か、あるいは設立のための条件や手続き方法などを広く知っても

らえるように今、整理しています。また、Facebook上にシブ大のファンページを作成する計画も進行中。放課後のたまり場が時間と空間を越えられるネット上にある、みたいなイメージです。学生同士が意見交換できたり。出席できなかった人も関わって面白くなってもらえたらいいな、と。

左京 授業数や席数もちろん増やしていきたい。学生登録者数は増えているのに、授業数を増やせないでいるのはツライ現状。そこにはお金や組織の課題があるわけだけれど、どうにか工夫と努力で高くなった抽選倍率を下げたいよね。

榎本 授業コーディネーターや授業運営スタッフとしてシブ大を楽しむ人も、もっと増やしたい。授業運

営スタッフの中には「授業を作ってみたいけれど自信がない」という人も。「先輩コーディネーターと組んで作ってみるとか？」と提案したり。とにかく“自分事”にして、自分で作ってみると楽しいよ、と。

**地域、企業、行政……
授業を、連携の結び目に**

榎本 シブ大は、なぜ授業料無しで運営できるのか、という質問がよくあって。年間20授業程度を行政から委託されていること、そこから派生して委託系の仕事をいくつも請け負っていること。企業や地域とのコラボレーションによる授業も作っていることなどを話すと「なるほど。ネットワークできていると判った」と理解してもらえます。

左京 設立から6年が経って思うことなただけれど、たとえば昨年からは恵比寿ガーデンプレイスさん主催のイベントに企画担当としてシブ大、主に恵比寿キャンパスが関わっているというのは、今までにはなかったフェイズの活動なんだよね。渋谷区の防災に関するプロジェクトでは、地域と行政の橋渡しもさせてもらっているし。授業作りのノウハウやネットワークを活かす形で、地域や企業とコラボレートして良好な関係作りに貢献するっていうのは、シブ大が新たに開拓していきたい方向性のひとつだと考えています。

榎本 大きな目標のふたつですね。「企業でも行政でもない存在としての、“新しく出会った何かの課題×シブヤ大学”という取組み」は

これからもチャレンジしたい。いろいろな活動や出会いがあってこそ見えてきた可能性です。

左京 行政側は、これから税収が減って行く傾向にある中で、未曾有の高齢化社会の到来も含め多様化する住民のニーズにどう対応するかが課題でしょ。

榎本 行政にとって、民間、特にNPOとの連携はどんどん重要になっていくと思っているんです。その意味でも、授業がお互いの連携の結節部分になるサービスを考えていけたらいいな、と。行政単独よりも一緒に取り組むほうがよりよいサービスを提供できる可能性は十分にあると思う。

左京 地域とのつながりがいろいろな形で深まるといいと思う。パルセ

ロナFC、日本では大分トリニータといったサッカーチームは、多くの草の根市民や個人商店などがサポーターとなっていることで有名ですね。不特定多数から少しずつサポートしてもらうスタイルを、シブ大も今一度目指したいと考えています。

榎本 特定少数によるサポートは効率的ではあるけれど、地域での持続可能なプロジェクトを目指す僕たちがそこに偏るのは違うと思う。

左京 何より老若男女、何代にも渡ってサポーター会員を続けていることが誇りでもあるって、いいよね。そんなシブ大を、みんなで目指したい！



「シブヤ大学における、
楽しめるキャパシティをもっと増やしたい」 —榎本



学生数／メールマガジン登録者総数※1

20,444人

授業への申込者数※2

4677人

授業の定員数※2

2288人

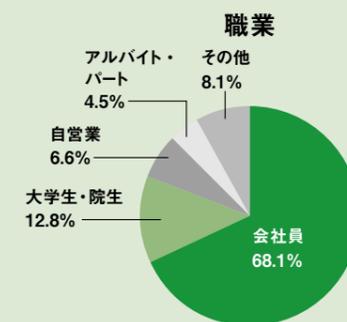
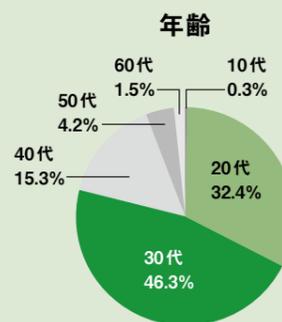
授業数※2

71授業

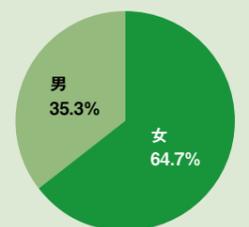
申込倍率※2

2.04倍

学生の内訳※1



性別



※1 2012年3月末日現在
※2 2011年4月～2012年3月

シブヤ大学という組織、 フラットで有機的な“蔦”のようなチームです

シブ大運営における専任スタッフは、事務局の数名のみ。授業コーディネーター、ファンドレイズ、プロジェクトリーダー……ほぼすべての役割は、普通に働く社会人たちが担当しています。授業を手伝うスタッフやインターンも社会人や学生が務めます。……と、ここまでは他のNPOでも見受けられる状況ですが、そこからが少し違う。

シブ大では、自分がやりたい役割をひとつでも複数でも状況や熱意、キャバなどに応じて自由に担います。ファンドレイズを担当しつつサークルのリーダーをしてもいいし、ボランティアスタッフがある日、授業コーディネーターとしてデビューすることも。また、今まで無かった役割や新サービスを「やってみよう」と手を挙げる誰かがいれば、「お、いいね。やってみてよ!」とみんなでサポートするケースも珍しくありません。

シブ大組織の有り様は「フラット、かつ有機的」。事務局からの支持命令系統ではなく、自らが「楽しい!」と思えることに臨機応変に取り組める“我がチーム”であると捉えています。緑の蔦が絡まりながら成長していく……そんな組織が理想です。

事務局

学長、事務局長、事務局スタッフで構成される、シブ大唯一の専任チーム。シブ大に関わるすべての人たちが自発的な活動をしやすいように下支えする、がミッション。

インターン

事務局の日常業務に加えて、「着手すべき課題」の仮説を立てて解決にまで持って行くなどの自発的活動も。卒業課題は「授業を1本作ってみる」。

ファンドレイズ 担当

よりよい授業をより多く成立させるために必要な資金を集めるべく、協賛企業を探したり、さまざまなパートナーとのコミュニケーションを行います。

ゼミ・サークル リーダー

シブヤ大学の活動を発端に生まれた課外活動ともいえるゼミやサークル。設立条件としては、責任を持ってウキウキと活動を推進する代表者が必須です。

先生

「教えられる面白いこと」があれば、誰もが先生候補。学生が先生になったり、「街の先生」公募からなることも。

授業 コーディネーター

自らの好奇心とアンテナを武器に、面白い先生やネタを見つけては授業という形で具現化。「ひとりの生徒になる」ことを大切に活動中。

授業運営 スタッフ

授業当日の会場設営、受付、記録などを請け負うのはボランティアによるスタッフ。授業後の職員会議にも出席して意見交換を。

プロジェクト リーダー

シブ大メンバーがそれぞれにニーズを感じて立ち上げた原宿表参道・恵比寿の両キャンパスやMAP隊、しごと課などのプロジェクト。校長、隊長、課長……ときまざまな呼称(?)で活動中。

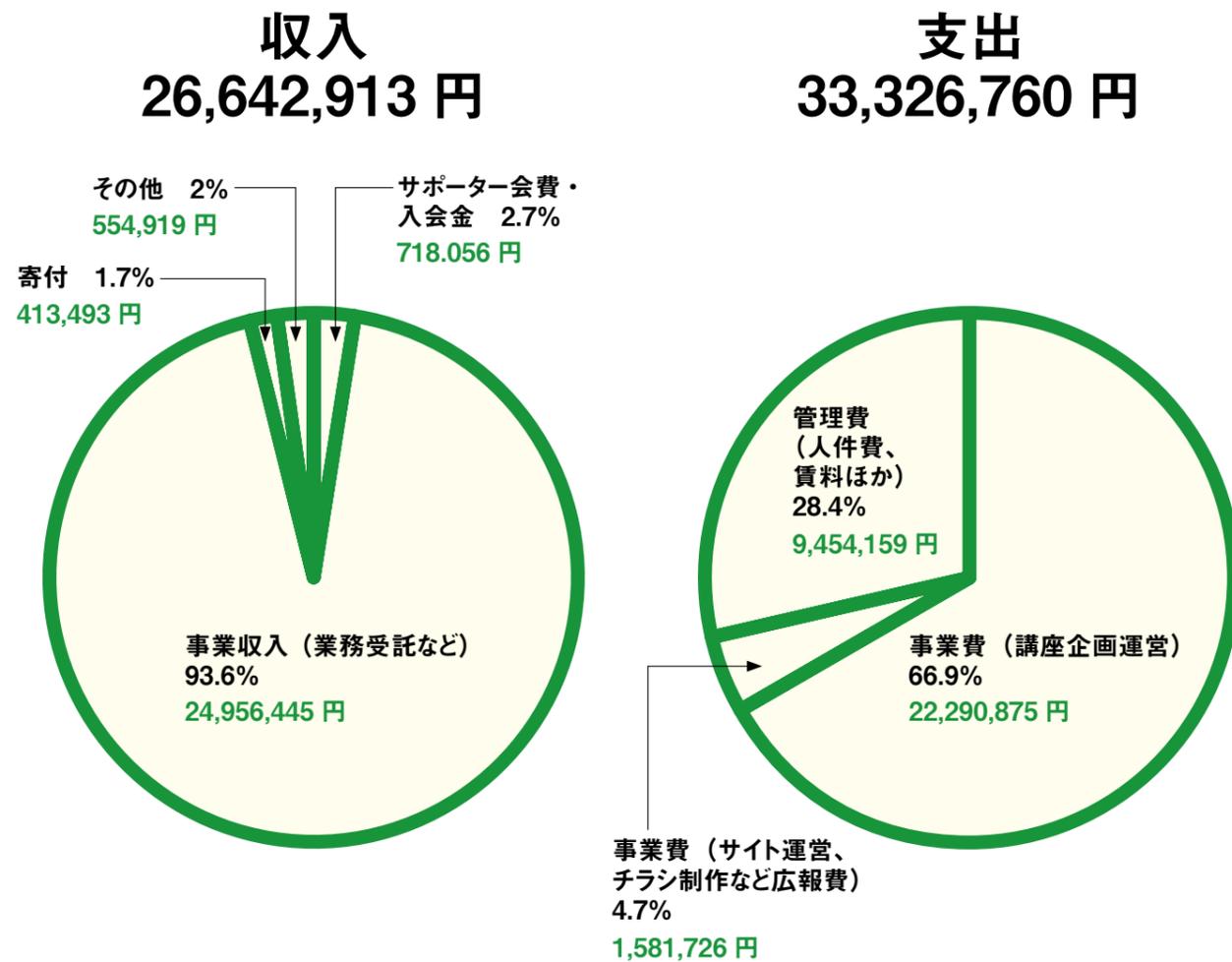
2011年度 シブヤ大学 会計報告

シブヤ大学の運営費は、主に

- 行政（生涯学習授業の企画・実施受託）、
- 企業（各種コラボレーション）、
- 個人（サポーター制度や寄付）

という3本柱からの収入で賄われています。

「それぞれからバランスよく支援いただく」ことが、シブヤ大学を“持続可能なプロジェクト”たらしめると考え、今後、これを目標のひとつとしていく予定です。



2011年度	収支差額	▲ - 6,683,847 円
前期繰越		699,089 円
次期繰越		- 5,984,758 円

2011年度は2011年3月に発生した東日本大震災の影響もあり、通常は大きな割合を占める企業とのコラボレーションによる収入が例年(※)と比べ大幅に減少した結果、赤字決算となりました。
 ※収入総額 2010年度43百万円、2009年度50百万円

個人サポーター、
 コラボレートいただいた企業・団体、寄付いただいた皆さま、
 本年度もありがとうございました!

【法人会員】(五十音順)

アサヒビールホールディングス株式会社
 株式会社そごう・西武 (西武渋谷店)
 株式会社東急ハンズ

【コラボレートいただいた企業・団体】(五十音順)

アサヒビールホールディングス株式会社
 (Social Sensing ~社会を観る力~)

株式会社そごう・西武 (西武渋谷店)
 (みんなの図工室シリーズ)

株式会社東急ハンズ
 (自分でメンテナンス!知って楽しい暮らしのヒント ~お部屋の壁編~)
 (親子でつくろう! ~たのしいコリントゲーム~)
 (教えて!ハンズ!シリーズ)

財団法人日本心臓財団
 (心臓学科シリーズ)

サッポロ不動産開発株式会社
 (恵比寿文化祭 2011 ~オープン、恵比寿!~)

渋谷公園通商店街振興組合
 (シブヤ子どもフェスティバル 2011 ~こどもはまちのたからもの~)

日本アムウェイ合同会社
 (一緒に生きる。 ~小さな希望を見つけるためのワークショップ~)

日本中央競馬会
 (おとなの社会見学 09 ~東京競馬場に行こう!~)



シブヤ大学、そして授業について。
感想を聞かせてください。～参加者アンケートより～

授業の終わりにお願いしているアンケート。
授業の感想、満足度からシブ大へのリクエストまで、
みんな熱心に書き込んでくださっています。
そんな中から、シブ大や授業の雰囲気が伝わりそうな
いくつかをピックアップしてご紹介。

皆それぞれにいろいろなアイデア
を持っているけれど、それを共有する
場ってなかなか無いのですごくいい
機会だと思いました。(20代女性)
26 「原宿で1日お店をやりたい人集まれ!」



正直なところ、こんなに気づきの
ある「大学」だとは思っていま
せんでした。申しわけありません。
(30代男性)

10 「一緒に生きる。～小さな希望を見つける
ためのワークショップ～」

シブヤ大学は入口を作ってくれる
ので、その後、どうやって続けて
いくかを考えようと思います。(30
代男性)

27 「みんなの図工室 06 ～素足に気持ちいい!布ぞうり作り～」



シブ大だから、不安なエリ
アにもチャレンジできます。
(40代男性)

09 「ブルーハーツでバンドやろうぜ!」

医学を学んでいるのですが、こ
ういった授業は学校とはまた
違って新鮮でした。(20代女性)

02 「それでもあの人が
心臓病になってしまった場合」



普段ほとんどお話しする機会の持
てない方々とサラッとお話できる
チャンス。楽しくて新鮮で、息抜
きになりました。(20代女性)

14 「みんなの図工室 03
～消しゴムはんこでフルーツバスケット!～」



みんなでワイワイとモノを考えるこ
と自体が避難時に気持ちを保てる
ことにつながりそうだと思います。
(20代女性)

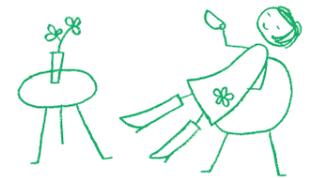
67 「今改めて学びたい、もしもの時に役立つアイデア実践術!
～3.11を機に生まれたサバイバルプロジェクト OLIVE～」

面白いからスタートすることに
素晴らしさを感じました。可
能性広がる大学で素敵です。
(30代男性)

37 「100名で原宿表参道旅行社!
～原宿表参道スペシャルツアーのつくり方～」

いつまでも都会に馴染めず、息苦し
さを封じ込め日々の生活を送っていま
すが、授業に参加して肩の力が抜けた気
がしました。会社にいる人たちは違う、
いろいろな人に会い、話を聞けるのが
楽しいです。(20代女性)

32 「わたしの好きなもの ～34歳、女、独身、
グリーンファッションショップ・ディレクター～」



人間の知恵も、たくさんのつな
がりは何倍にも増えていくのだなあ!
(50代女性)

67 「今改めて学びたい、もしもの時に役立つアイデア実践術!
～3.11を機に生まれたサバイバルプロジェクト OLIVE～」



学びつつ、いろいろな人たちとフラ
ンクに仲良くなれるのは GOOD で
すね!(30代男性)

06 「移動する料理教室
～みんなでピクニック～」

**生涯学習の
専門家に聞いた**

「学び」を通じた
地域コミュニティの
形成に向けて
～シブヤ大学への期待～

文部科学省生涯学習政策局
社会教育課長
伊藤学司

「民主主義の訓練場」、「文化
交流の場」、「親睦交友を深める施
設」、「郷土振興の機関」、「産業
振興の原動力」……これらはいずれ
も昭和21年に示された公民館の機
能です。戦後の荒廃した社会の中
で、地域の人づくり・絆づくりを通
じて、地域の元気の源となり地域社
会を興していくことを目指し、各地
に公民館が設置されました。そこ
に若い青年たちが夜な夜な集い、

課題は何か、自分たちに何ができ
るかを学び、真剣に議論すること
を通じ、地域振興の担い手として育
っていったのです。しかしそれから
60有余年、都市化が進み、かつて
あった地縁によるコミュニティが崩
壊し、社会は大いなる変容を遂げ
ました。多くの公民館は、残念な
がら、当初の姿とは異なり、中山
間地域において主に高齢者が集う
場所となっています。

では、都市部において、特に若い
人々を結ぶかつての公民館が果た
した役割は誰が担えるのでしょうか。
その一つの答えが、まさにシブヤ
大学の取組にあると思います。

「学びの場」を通じて若者を中心
に多世代の人が集い、自らの成長
を図ると共に、地域に新しい活動
を興す絆を作り上げていく、そし
てそれを「新しい公共」の担い手
であるNPO法人が展開する。ま
さに、21世

紀の新しい形での地域コミュニティ
形成です。

東日本大震災を機に、人と人の
絆、地域コミュニティ形成の重要
性がますます高まっています。東
北地方の沿岸部は地域コミュニティ
が比較的しっかり残っていた地域
ですが、仮にあのような震災が
今、都心で起きてしまった場合、
今回の被災地のように地域のみ
なで助け合うという関係が築
けるでしょうか。

シブヤ大学には、全国の都市部
における先駆者として、渋谷の地
において、都市部における「学
び」を通じた新しい形での地域
コミュニティ形成のモデルをお示
しいたごたい。シブヤ大学の今
後益々の活躍、大いに期待して
います。

